

# 令和7年度大分県・東部地区総合防災訓練

## 目的

大規模災害時における自治体と関係機関・団体の連携強化及び地域住民の防災意識の高揚を目的とする。  
県総合防災訓練は昭和52年から実施。県内を6ブロック(概ね振興局単位)に分けて実施。  
東部地区では令和元年度以来 6年ぶりの開催。

## 概要

- 日 時 11月24日(月・振休) 9時00分～13時00分
- 会 場 別府市、杵築市、国東市、姫島村、日出町(メイン会場:杵築中学校グラウンド)
- 主 体 実行委員会会長 永松 悟 杵築市長
- 参加機関  
県、市町村、県警、消防、自衛隊、国交省、気象庁、民間事業者、自主防災組織、地域住民 など  
約100機関、1,000人以上の参加を予定
- 訓練想定 大雨と地震による複合災害

## 訓練ポイント

### ○孤立集落対策の強化

協定団体との連携による道路啓開や、ドローンを活用した情報収集、物資支援、通信設備展開等の訓練を実施。

### ○被災者支援の強化

要配慮者への支援やペット同行避難等をテーマとした避難所開設・運営訓練を実施。

### ○応援・受援体制の強化

国や県からの支援物資を円滑に受け入れるため、自治体間や自衛隊、物流業界と連携した物資輸送訓練等を実施。

(昨年度の訓練の様子)



# 大分県・東部地区総合防災訓練内容俯瞰図

